

優れた、より良い福祉コミュニティをめざして

まほろば

ふれあいネットワーク

社協広報

わんぱく探検隊 (春の自然タッチング)

第17号



真剣なまなざし、あと一息！

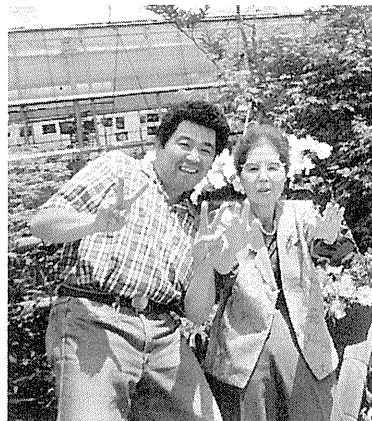
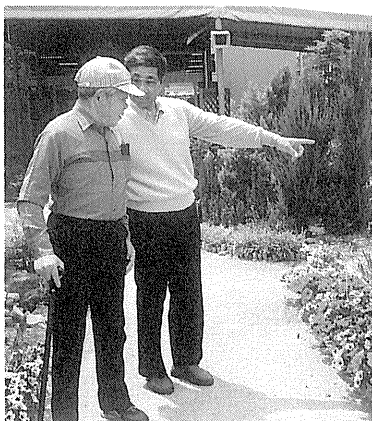
児童館活動を通じ、見て・触れて・感じて色々な経験を生かし、より多くの事を学べる場になるよう日々心がけています。

写真 / わんぱく探検隊 (春の自然タッチングから)

ポケットハイキング

「ポケットハイキング」とは、山形村社会福祉協議会独自の事業で、外出の機会の少ない高齢者を対象に、社会参加と心身のリフレッシュをしていただくために行っている事業です。現在、松本倉庫(株)にこの事業へ企業ボランティアとして協力をいただいております。

企業ボランティアからの感想



ポケットハイキングに参加して、とてもほほえましい場面に大変感動しました。途中立ち寄った花屋さんで、花の好きな奥様へお土産を買われた時の笑顔がとても印象的でした。(K. S)

今回、初めてボランティアをして感じたことは、車椅子でジャリ道を移動することは、思った以上に押す側、乗る側両方に大変なことだと感じました。お年寄りや、障害者への環境整備などの必要性を今回の体験で痛感しました (M. A)

福祉関係のボランティアに初めて参加させていただきました。車椅子を押すのも初めてでしたが、大変貴重な体験でした。これからは、更に福祉が重要な時代になると思います。多くの人たちが関心を持ち、機会があれば皆さんもこのようなボランティアに参加してみてはどうかと思います。(S. N)



🌸 ガーデニング 🌸

今年度「デイサービスセンターふれあい」で取り入れた新事業です。

草取りから収穫まで、昔から慣れ親しんだ土とのふれあいの中に、心身のリフレッシュを兼ね現在進行中！

ガーデニングについてのインタビューです。



畑仕事は好きだよ、久しぶりだから嬉しかったね
しかし、こんな狭い所で幾種類もよくできたもんだ

今日、ほうれん草こいだよ
特別うまいねー
草取りにも精出すからね

こんな狭いところで
できるかや？と思った
土地がやせてるから
心配したけど
トマトもいっぱい
できたしよかった！

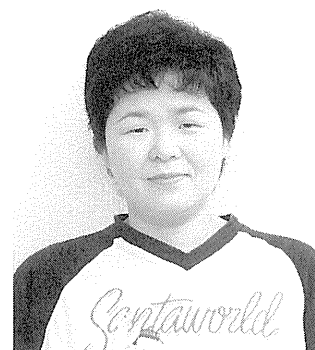
私、畑仕事ってやったこと
ないんだけど
これくらいの畑なら
かわいくていいね
今日お昼に出た
お菜の卵とじは
格別おいしかった



二度目の新人頑張ります

主任児童厚生員 小野ひとみ

新年度4月の人事異動で、社会福祉協議会ふれあい児童館の主任児童厚生員としてお世話になっております。保母として山形保育園に勤務して20年余り過ぎ、いつのまにか名前の前に「ベテランだから」という代名詞が付くようになっていた時の事。私の立場は一転して新任職員になりました。聞くこと、見ることに初めてで「何？分からない…」という言葉が口ぐせのように飛び出し、不安で仕方ありませんでした。そんな私を利用者の皆さんや社協の皆さんは、暖かく迎えてくれました。やさしい心に触れて、とても嬉しかったです。今は少し落ち着き、失敗したりしながら頑張っています。せっかくいただいたチャンスなので、見て・聞いて・確かめ体験し、福祉の心を学びながら人間としても大きく成長したいと思っています。ご迷惑かける事もあるかと思いますが、応援よろしくお願ひします。



みんなの声

—— お母さん編 ——

最近のうちの子

2歳の息子は、最近コマースのまねをします。

殺虫剤の、「あみーど、あみーご」が好きでよく踊ります。

でも、ちょっと困るのは、こんにやく畑を10回も歌わされ、最後に私のおなかをつまむのは、やめてもらいたい。

K・S

5歳と2歳の姉妹は、最近お姫様ごっこに夢中！お風呂上り姉がバスタオルを巻いていると、今度妹がスカートを持って私のところに。

「はいはい」お姉ちゃんと同じように巻いてあげると2人のお姫様のできあがり。「あましお、おしめたまネー」姉の通訳によれば、「わたしもおひめさまねー」さすがお姉さん、母も感心しています。

H・Y



春眠暁を覚えず…どころか梅雨も明けこれから夏本番だというのに、うちの子は朝ちっとも起きません。

はじめ、やさしい母も最後は、堪忍袋の緒が切れ、怒り爆発！家族はというと「うちの母ちゃん今日も元気」とばかり知らん顔。当の本人は、いつもの事ながらマイペース、忍耐強いというか、図太いのか、「わすれものなーし」と今朝も元気に出かけて行きました。

「いってらっしゃい、気をつけてね」まだまだこの平和がずーっと続きますようにと苦笑いです。

M・N

2人の姉にもまれ、大声でなく一年生の娘に「よくなくこねエ」と言ってしまったところ「みんな違うんだからッ！いろんな人がいるんだからッ！」と逆にしかられた。

H・S

先日、あるコンサートに一家で出かけた。演奏が始まったのに、なにやら息子がゴソゴソしているではないか。

最後尾の席で他の観客に迷惑にはならないで済んだが、終わってから父親が雷をドカン！「場所をわきまえろ！」母親の百の小言より父親の一喝。

長男だけでなく次男もうなだれている雷効果は寝るまで続き、妙に静かな兄弟だった。

N・I

このコーナーに、みなさんの身近な出来事をお寄せ下さい。私の宝物や自慢話、何でも結構です。思わず笑ってしまうような事件などお待ちしております。

鉢盛中学校からのお知らせ

受講料無料！

あなたも鉢盛チャレンジタイムでリフレッシュしませんか？

鉢盛中学校では今年から、地域の方々から学び、地域の方々と共に学ぶ「鉢盛チャレンジタイム」という学習活動を始めました。この講座は興味のある一般の参加者を募集しています。

鉢盛チャレンジタイム講座

申し込みお問い合わせは、99-2501（担当 小林）まで

百人一首	初心者の方でも得意な方でもどなたでも。一緒に日本文化に触れて見ませんか。何人でもどうぞ
エコクラブ	身の回りの環境を一緒に調査して下さる方大募集
ボランティア ふれあいネットワーク	心をつなぐのは言葉だけではありません。おたがい手を取り合っ活動してくれる方募集します。
楽しくレクスポ！	グランドゴルフ、フライングディスク、マレットゴルフ、スポーツを楽しみたい方ぜひどうぞ。
Do fishing！	釣りが好きな人、興味のある人ならどなたでも
打つべし	そば打ち、食べるのが目当ての方でも大歓迎
ジャポニズムー1 太鼓	地域に伝わる伝統芸能「太鼓」を一緒に学びましょう。太鼓貸して下さる方も募集します。
ジャポニズムー2 茶道	茶道を通して礼儀や日本文化を学びたい方、初心者でも大歓迎です。
ジャポニズムー3 華道	生け花やってみたい人、昔やったことのある人、一緒に心の中に花を生けましょう。
切り絵折り紙工房	折り紙、切り絵に興味のある人、不器用な方でもかまいません。
鉢盛木工工房	木で何か作ってみたい人、興味のある人募集中

百人一首講座に参加されている櫻井好恵さんのコメント

「中学校を地域に開放するのは長年私が願ってきたことであり、今回の鉢盛チャレンジタイム開講を聞いて、必ずどこかに参加したいと思っていました。昔、百人一首は恋の歌ばかりという事で、禁止され、皇国百人一首をやっていた世代に生まれました。ぜひ、小倉百人一首を中学生の皆さんと一緒に学びたいと思い、また、ポケ防止の意味もあって参加しました。百人一首の歌を勉強したいと思いましたが、この講座では主に競技としての技術向上を目指して頑張っています。中学生の一生懸命さがひしひしと感じられ、嬉しく思います。私は3回連続で参加していますが地域の方ぜひ、大勢参加してほしいと思います。



ジャポニズムー3 華道 活動風景

短歌・俳句

村民の皆様からお寄せいただいた作品です。


夏帽に杖つき
福祉のバスを待つ

ふれあいの館芍薬
むれ咲けり

くつろげる仲間があつて
なごむ老い

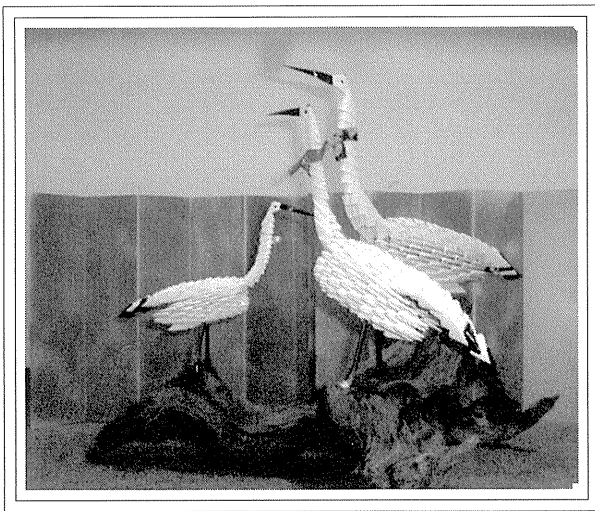
雨降れば雨を迎える如くにも
陽花は咲く七色秘めて

四・五メートル追いかけ呼吸乱るるに
風にころがり逃げゆく帽子



“うめみ”ばあちゃん コーナー

「つる」

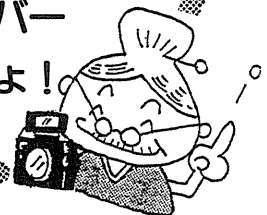


下竹田／神明連絡班
上條 政廣さんの作品



ゴールデンレトリバー
かわいいでしょ!

南堀連絡班



ボランティアグループ紹介

カトレア会

◇神通川幸子◇

☆ボランティア活動の開始 8年前から実施
☆主な活動 「ピアやまがた」でのおむつたたみ

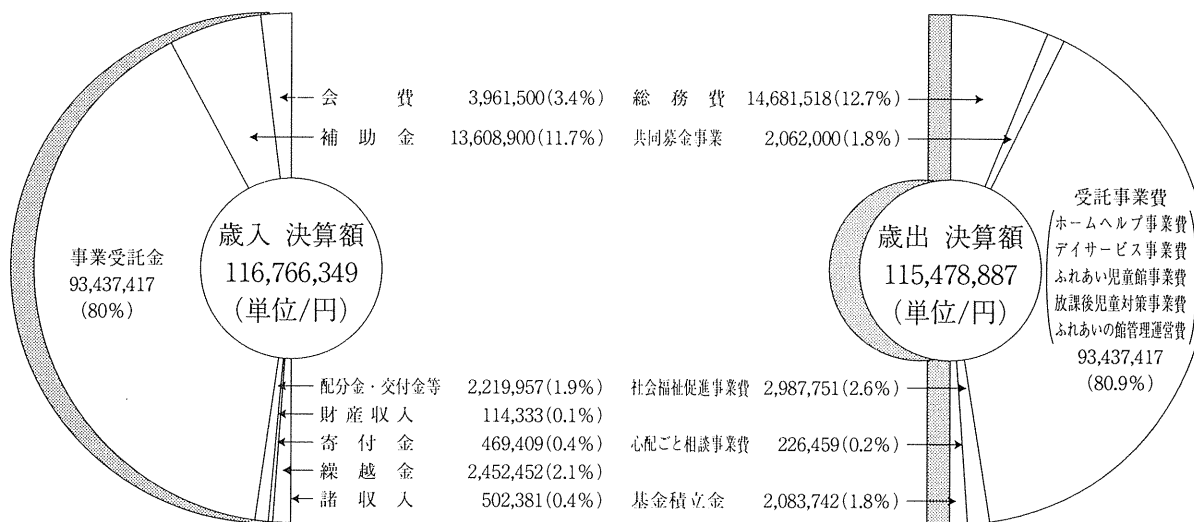
ボランティアグループ「カトレア会」のメンバーは、平成2・3年度山形村の連合婦人会があった頃の最後の役員11名で結成した仲間です。

この会を始めたきっかけは、社会福祉協議会の方よりお声がかかり、ボランティアについての勉強会や、実践活動にも参加するようになり、何かもっと身近な事でボランティア活動ができないかと考えていたところ、山形村に特別養護老人ホーム「ピアやまがた」が開設され、私達にも無理なくやっていけそうな、おむつたたみのボランティアを始めてみる事にしました。毎月第4木曜日に2人ずつ半日ボランティアをやっています。大きな乾燥機から出されたおむつは山のようで、夏はその熱さに汗をかき、冬は手からぬくもりを体じゅうにもらいながらやっています。5ヶ月に1回ではありますが、利用者の方とも顔見知りになり、「こんにちは」と声をかけていただくと、思わずこちらも「こんにちは」と笑顔になります。こんな時は本当に続けてきてよかったと実感します。ボランティアと一言でいっても色々ありますが、「ピアやまがた」でのおむつたたみを通じて、ボランティアとは、自分のためにさせていただける大切なひとときだと思います。



平成10年度山形村社会福祉協議会一般会計決算の報告

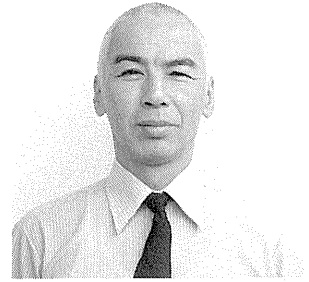
去る5月26日、平成11年第2回山形村社会福祉協議会評議員会において、平成10年度社協事業報告並びに一般会計決算が承認されました。一般会計決算の概要は次のとおりです。



▲平成10年度山形村社会福祉協議会一般会計決算の概要

「ずくを出して…」

野村 俊介 (松本倉庫株式会社)
代表取締役社長



社協で行うポケットハイキングの運転ボランティアを、私どもの会社が交替でさせていただくことになりました。運転の仕事をする会社なので、“おてのもの”と言わせていただきます。

本来ボランティアであるものを、仕事のひとつとしてするのも妙なことではありますが、「いずれ誰かがやらなければならないことならば、ひとつやってみよう」と思い、始めてみました。私ども社員全員が順番で行い、一人一人が福祉の現場を経験することで、それぞれに何かしら感じることもあると思います。すでに介護の始まっている者、自らが障害者であったり、立場は違っても“介護”というものに携わっている者、少なくとも親の介護や自分の老後について、多くのものが心配としていることには間違いありません。これに対して会社側が特別な策を講じているわけではありませんがせめて体験学習の機会を設けて…というわけです。

身近な所でいえば、子ども達の学級PTA役員や、育成会での活動、地域の活動にも積極的にかかわりを持つということも案外面白いものです。私にとっては、これらのことがいわば、ボランティア活動のようなものです。回り当番でやることを、ボランティアというのもおかしなのですが、私の考えるところでは、押し付けではなく、強制でもなく「みんなちょっとずくを出して…」というものはボランティアと言っていいと思います。

こう考えると一斉清掃や、通学路での交通安全指導などもボランティア活動のひとつだと思えます。ハチマキしめて、意を決してなど、構えなくともみんなが一人一人ちょっと時間をさけば、ということがたくさんあるのではないのでしょうか。今まで人生の先輩たちが、色々工夫して日々の生活や、行事の中にボランティアの志を生かすようにと作ってくれてあるように思えます。そのしくみをうまく使いお互いが気持ちよく暮らしていけばそれでよし、ちょっとズルしてさぼっても、次の機会にその分だけ気持ち多めにすれば、またそれはそれでよし…くらいに考え、自分のペースで、できることから気張らず諦めずやっていきたいものです。

[2ページに関連記事掲載]

◇編集後記◇

社会福祉協議会では、今まで以上に村民の皆様の声を大切にし、一つのコミュニケーションの場として、“広報”を出していきたいと思えます。

これからも、より地域に密着した「広報まほろば」を目指し、多くの人に読んでいただけるよう頑張りたいと思えますので、ご意見・アイデア等ございましたら、社協までご連絡下さい。

これからもご協力よろしくお願い致します。

----- 広報編集部員一同 -----

まほろば

(社協広報/第17号) 平成11年8月20日発行

●発行所 社会福祉法人 **山形村社会福祉協議会** (ふれあいの館内)

〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村3940番地の1 ☎ 0263 (98) 3081 FAX 0263 (98) 3016

●印刷所 日本ハイコム株式会社